

## 2 埼玉県の学力向上施策について：（3）優れた取組の抽出・共有

### 良い授業を見つけ！広めて！学力UP事業

#### <現状>

- 子供の学力を「伸ばしている学級」と「伸ばしていない学級」が存在
- 学校・市町村内での共有には限界  
(例:小規模学校は教科担任が1名など)
- 授業のポイントやニュアンスは資料だけでは伝わらない

**「伸ばしている学級」の取組(良い授業)を見つけることが必要**

**県内全域に良い授業を広めることが必要**

**動画などで良い授業を見てノウハウを学ぶことが必要**

**県学力・学習状況調査の結果から抽出した良い授業を撮影し、編集・加工した研修資料を県内全域に広めることで授業改善を進める。**

#### <事業内容>

##### 良い授業を見つける！

H29 クラス	伸びた児童の割合	
	国語	算数
5-1	73.4%	96.5%
5-2	74.8%	75.1%

##### 良い授業を広める！



##### 良い授業を学ぶ！



#### ①県学調の結果から良い授業を抽出

- 感覚ではなく、データに基づいて、子供を伸ばしている授業を抽出

#### ②良い授業を撮影し、専門家などの解説を付加した動画を作成

- 時間、場所に関わらず良い授業が見られる使える
- 動画を活用した研修の構築

#### ③年次研修、校内研修、自主研究などで活用

- 実際の授業を見ているような臨場感や解説を通して、授業のポイントやニュアンスを実感

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
国語/算数数学/英語	授業撮影・編集(解説の付加など)研修の構築			年次研修、校内研修、自主研究などで活用

**データに基づく効果的な授業を学び、教員の授業改善を通して子供達の学力UP！** 13

## 2 埼玉県の学力向上施策について：（４）各市町村教委・学校による調査結果の活用促進

### <各市町村教委・学校に活用を促している資料の例>

#### ○各種帳票・分析支援プログラム

各学校が調査結果を多角的な角度で分析するための帳票や「分析支援プログラム」の作成・配布  
→ 市町村教委・学校ごとに、学力等の状況を把握できる。

#### ○コバトンのびのびシート

埼玉県学調や市町村等が独自に実施した調査の結果や教員の指導等を一元化して引き継ぐことのできるカルテの作成・配布  
→ 一人一人の状況を踏まえた授業改善、教員間の情報共有が可能になり、子供たちへの継続的な指導ができる。

#### ○コバトン問題集・復習シート

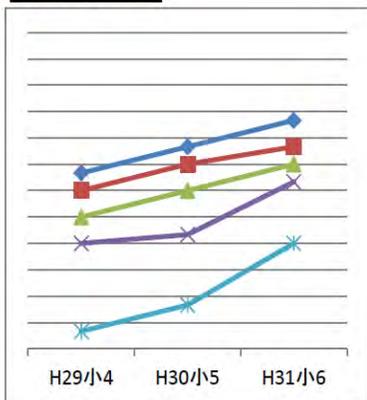
埼玉県学調の類似問題や全国学調の問題をまとめ、問題集として作成・配布。  
→ 子供達が自分の学力を踏まえ、より難しい問題に挑戦することや、難易度の低い問題に立ち返ることができる。

(配布している帳票の例)

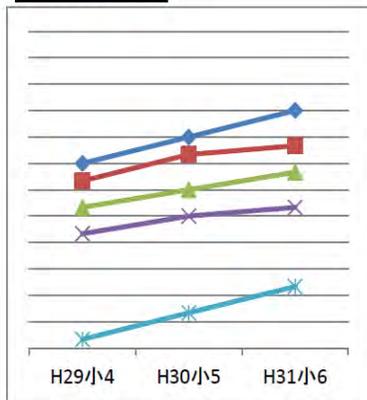
(コバトンのびのびシート)

学校名	学力を伸ばした児童生徒の割合 (%)	学力が伸びなかった児童生徒の割合 (%)	学力の伸び率 (H31学力レベルとH30学力レベルの差の平均)
埼玉県	66.8	33.2	1.8
〇〇市立〇〇小学校	67.8	32.2	2.2

#### 貴実施主体



#### 埼玉県



#### コバトンのびのびシート

年度	正答率	レベル	伸び		数と計算	量と測定	図形	数量関係
			伸び	伸び				
H30	63.3	6-B	3 (1)	25.0	88.9	58.8		
H31	40.3	5-C	0 (2)	36.4	42.9	57.1	28.6	

項目	内容	H30	変化
AL	「主体的・対話的で深い学び」ができていたか	3.0	0.0
学習方法	系統的方針	3.1	0.3
	学習の進め方き自分の状況に合わせて柔軟に変更している活動		
	プランニング方針	2.0	-0.2
	計画的に学習に取り組む活動		
	作業方針	2.8	0.3
	ノートに書いて、裏に出したりといった作業を中心に学習を進める活動		
	人約リソース方針	1.6	0.3
	すぐにはやり方や考えを聞かずに学習を進める活動		
	認知の方針	2.6	0.1
	より自分の理解度を高めるような学習活動		
	努力調整方針	3.1	0.3
	「壁」毎の感情をコントロールして学習への意欲を高める活動		
認知能力	目標	2.7	0.2
	自分の意欲や状態をコントロールすることができる力		

#### 学習方針と非認知能力の変化

#### 学力レベルの変化

【年・組・氏名】6年1組15番

実力テスト(国語)	実力テスト(算数)				
	読解	聞く	書く	読む	漢字
国語	78	87	40	87	89
算数	88	68	66	80	97

国語	算数
読解	67
聞く	55
書く	50
読む	45
漢字	70

#### 伸ばしたいところ

国語  読解  聞く  書く  読む  漢字  言葉のまわり

算数  読解  聞く  書く  読む  漢字  言葉のまわり

伸ばしたいところ

国語  文章問題と解くときの書き

算数  分数の計算  小数や分数の四則計算の定規と筆算  図形  面積  ノートと本の並びの仕方

国語  読解  漢字  言葉のまわり  文章問題と解くときの書き  算数  分数の計算  小数や分数の四則計算の定規と筆算  図形  面積  ノートと本の並びの仕方

算数  読解  聞く  書く  読む  漢字  言葉のまわり  文章問題と解くときの書き  算数  分数の計算  小数や分数の四則計算の定規と筆算  図形  面積  ノートと本の並びの仕方

### 3 取組の成果

#### (1) 「学力の伸び」が見られた児童生徒の割合の増加

これまでに4回計測された「児童生徒の学力の伸び」を比較すると、一定程度以上の「学力の伸び」が見られた児童生徒の割合は着実に増加している。

#### (2) 「主体的・対話的で深い学び」や「良好な学級経営」の進展

- ・児童生徒質問紙：全国と比べて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組や、良好な学級経営に向けた取組が進んでいることがうかがわれる。

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の回答を合わせた値

(単位：%)

質問事項	小学校		中学校	
	埼玉県	全国	埼玉県	全国
前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	67.5	62.5	64.8	55.8
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会等で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	81.2	74.0	81.2	71.6

#### (3) 学力調査を活用したPDCAの推進

- ・学校質問紙：全国と県の学力調査結果を併せて分析し、教育指導の改善や指導計画等への反映を行っているという回答した学校の割合が全国に比べ高い。

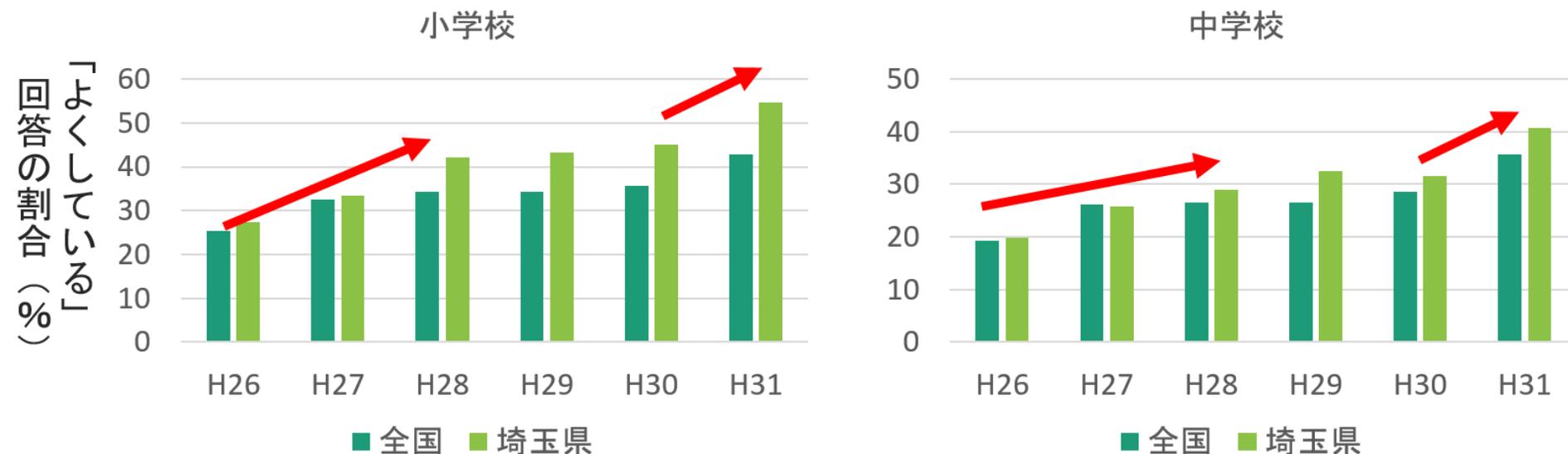
※「よく行っている」と回答した値

(単位：%)

質問事項	小学校		中学校	
	埼玉県	全国	埼玉県	全国
全国学力・学習状況調査の結果を自治体独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている	54.7	42.9	40.7	35.6

### 3 取組の成果

全国と県の調査を併せて分析し、PDCAサイクルを機能させて指導改善に取り組んでいる学校の割合につき、近年、埼玉県は全国を上回るペースで活用が進んでいる。



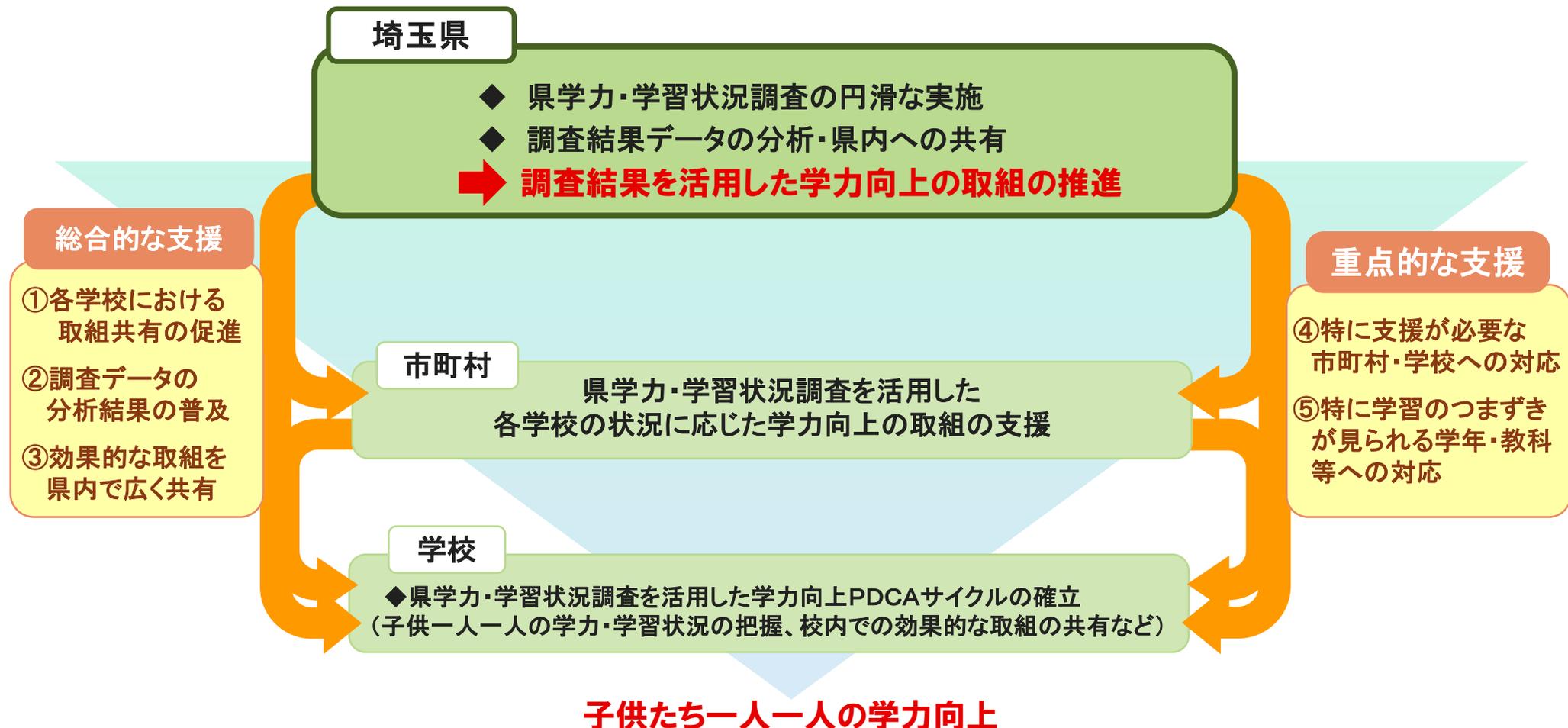
※全国学調の学校質問紙「全国学力・学習状況調査の結果を自治体独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている」の回答状況の推移

## 4 今後の展開：（1）重層的な支援

<基本方針：市町村・学校との一層の連携・協働による重層的な支援>

○県学力・学習状況調査のデータを十分に活用し、学力を伸ばしている良い取組を発掘・共有する文化やネットワークを各市町村・各学校に構築する。【総合的な支援】

○伸び悩みを抱える市町村・学校を徹底的に支援することで、子供たちの学力向上を図る。【重点的な支援】



# AIを活用した学びの実践研究事業

～県の学力調査結果などのデータとAIを活用し、子供一人一人に応じた指導の実現を目指す～

県に蓄積されたビッグデータ



小中高の学校が保有するデータ

①県学力調査と学校保有データのAI分析

生活習慣アンケート等  
Q1 ○ Q1 ⊗  
Q2 ⊗ Q2 ○  
Q3 ⊗ Q3 ○

定期考査等  
○ ○ ○  
○ ○ ○

体力テスト  
部活動の状況

学校保有データはデータベース化や蓄積手法の研究が必要

## ①県学力調査と学校保有データのAI分析



子供の過去・現在の学習のつまずきの把握や、多くのデータパターンから将来の学力の状況などを予測

## ②AIによる分析結果(成果物)の活用を、小・中・高のモデル校で実践・検証

<成果物イメージと活用例>

### <個別アドバイスシート>

学力向上や生活習慣などの改善事項を提示

面談や授業改善などで活用

### <個別学習教材>

個々の理解度等に応じた練習問題の提供や復習箇所を提示

子供の家庭学習などで活用

### <進路支援シート>

目指す進路を実現するための長期的な視点での達成目標など提示

保護者との進路面談などで活用

## 4 今後の展開：（3）他の自治体への展開

### 実施自治体の拡大

#### 平成30年度から実施

- ・福島県西会津町
- ・福島県郡山市
- ・広島県福山市

全3自治体

#### 令和元年度から実施

- ・福島県全域(59市町村)
- ・高知県(北川村、大川村、三原村)
- ・宮城県白石市
- ・広島県福山市(2中学校区)
- ・高知県梶原町

全5自治体

#### 令和2年度から実施

- ・福島県全域(59市町村)
- ・京都府(宮津市・井手町)
- ・鳥取県(鳥取市・米子市)
- ・高知県(北川村、大川村、三原村、物部町、大豊町、黒潮町)
- ・宮城県白石市
- ・東京都三鷹市
- ・島根県益田市
- ・広島県福山市(全小中学校)
- ・高知県梶原町

全9自治体

埼玉県学力・学習状況調査



コバトン



うつくしま、ふくしま。

平成30年12月25日に連携協力協定を締結



福島県西会津町  
FUKUSHIMA NISHIAIZU TOWN

平成30年6月28日に教育データ分析で協定

○自治体間の効果的な指導の共有など、情報共有・連携の促進